

新入生を迎えて

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

本学の国際交流センターでは、年に2回、国際交流センター通信を作成し、皆さんに配布しています。紙面には、学内で行われている国際交流に関するあらゆるイベントの案内、そして報告を掲載しています。また、皆様の海外体験のきっかけづくりとなるような情報も掲載し、日本人の皆様も留学生の皆様も、身近なところで気軽な気持ちで国際交流ができるようサポートしております。

学生時代に国際交流を体験することは、他国との心理的な距離を縮め、また、自国への気づきにつながります。一緒に「私たちにできる多文化共生は何か」を考えていきましょう。

国際交流センター長 中田範子

ベトナムに協定校ができました！

2019年12月、ベトナム・ハノイにある私立タンロン大学 (Trường Đại học Thăng Long) 日本語学科と協定を締結しました。今後、タンロン大学日本語学科の学生が本学で短期留学生として学ぶことができます。

タンロン大学は、学生数約11,500人の大きな大学で、特に日本語学科は人気があるそうです。国際交流センター長が、タンロン大学で日本語学科の「日本文化」の授業を参観した際に、受講している学生に「日本の大学生も、皆さんが、今習っていることを高校の歴史の授業で習っていますよ」と話したら、歓声があがりました。ベトナムからの留学生も温かく迎えたいと思います。

タンロン大学ホームページ: <http://en.thanglong.edu.vn/>



▲ 協定書を交換(左: 本学国際交流センター長、右: タンロン大学学長)
▲ タンロン大学の「日本文化」の授業

本学が目指す国際交流

- 1 他者を国籍、民族、性別、年齢などの枠で判断するのではなく、同じ人間として心を開き、相手の人権を尊重することができる。
- 2 自国文化も他国文化も数ある文化の中のひとつとして客観的に捉えることができる。
- 3 国際情勢に関わる情報の本質を理解することができる。
- 4 本学で展開してきた知識体系の蓄積を発信することで国際社会に貢献できる。
- 5 よりよい社会および世界を構築するために、自分ができることを見だし、実行していくことができる。

前期活動予定

- 各種申し込み締切
両キャンパスとも4月24日(金)(4面参照)
- 英語サロン開始
[町田キャンパス] 4月22日～
[千代田三番町キャンパス] 4月24日～
(4面参照)
- 中国人留学生による中国語教室開始
5月7日～(水) 地域サポーター対象
- 国際交流パーティ
[町田キャンパス] 5月中旬～下旬
[千代田三番町キャンパス] 後期
- 短期交換留学生修了セレモニー
[町田キャンパス] 7月下旬
- 海外協定校短期研修 & 短期交換留学説明会
(4面参照)

未定の情報は追って掲示板等でお知らせします。

東京家政学院大学の海外協定校 本学から現地校へのプログラム紹介

- 中国吉林外国語大学(吉林省長春市)
・ 中国語 & 中国文化短期研修
- 韓国
釜山女子大学校(釜山広域市)
・ 文化交流プログラム※要推薦 / 選抜あり
韓南大学校(大田広域市)
・ 短期交換留学
・ 韓国語 & 韓国文化短期研修
- アメリカ合衆国
カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校
・ 短期交換留学
・ アメリカの言語と文化短期研修
- タイ
コンケン大学(コンケン市)
・ 調査・研究

UNHCR WILL2LIVE Cinema Partners 「女を修理する男」 上映会報告 (後援: 国連UNHCR協会)

2019年11月18日(月)に町田キャンパスで、11月22日(金)に千代田三番町キャンパスで上映会を開催し、本学学生、教職員、地域サポーター180名が、紛争時における女性への性暴力の実態について学びました。会場の募金箱に集まった17,387円は、国連UNHCR協会にお届けしております。ご協力ありがとうございました。

韓南大学校 (韓国大田広域市)

◇授業

授業は全て韓国語です。ついていくのが大変な時もありましたが、担任の先生が身振り手振りを使ったり、絵を描いたり、丁寧に教えて下さいました。日常生活で使える実践的な韓国語を学ぶことができます。クラス内で発表やゲームなども行い、とても楽しみながら授業を受けることができました。参加型の授業で韓国語がより身についたと感じました。

(人間栄養学科 2年 小山知優さん)

◇寮生活

研修には Buddy (バディ) という制度があり、同じ寮で生活しながら、生活で困ったことはもちろん、勉強のサポートしてくれる学生がいます。



▲ 寮の部屋

部屋は3人部屋で、ベッド、机、シャワー、トイレ、洗面台が備えられていました。同室の人は日本人でしたが、ご飯を一緒に食べに行ったり、分からない韓国語と一緒に調べたり、韓国語で会話をしたり、良い経験になりました。

(生活デザイン学科 3年 佐藤実穂さん)



▲ 授業で作った韓国料理



▲ 市場の韓服の店

◇大田広域市 & 韓国の文化

日韓関係が良くない中でしたが、日本語で歓迎してくれるタクシの運転手さん、食堂で飲み物をサービスしてくれた店員さん、道が分からずに困っていると声をかけてくれた方など、温かく優しい人が多かったです。文化探訪の授業も多く、韓国の歴史や人気のスポット、古くから伝えられている伝統などを学ぶことができました。

(人間栄養学科 2年 佐藤佳菜美さん)

◇研修を終えて

今回の研修では人の温かみを一番感じたように思います。現在、国の関係性や人種差別により、見知らぬ外国人を否定してしまう人を多く目にします。私は、今回の研修でたくさんの人情に触れた経験を胸に、日本に来てくれる海外の方にも親身になって接していきたいです。もし韓国の方が言葉が通じず困っていたら、自分の経験を活かして、積極的に韓国語でお手伝いしたいと思います。(現代家政学科 2年 後藤琴音さん)

※学年は全て研修当時のものです

2019年夏 海外協定校の語学・文化研修に参加しました！

◇授業

アメリカの授業は、指されて答えるのではなく、自分から進んで発言することが大事。曖昧な返事では伝わりません。英語の長文は大変でしたが、今までなかった力が身につきました。

(現代家政学科 3年 中嶋亜美さん)



▲ キャンパスでは週に1回 Farmer's Marketが開かれていた

◇ホームステイ

ホストファミリーが学校での様子やどんな一日だったかを聞いてくれたのが、かなり英会話の練習になりました。普段通りの生活の中に迎えてくれたので、その家の一員になれた気がしました。

(生活デザイン学科 2年 山口真結さん)



▲ ステイ先の私の部屋

◇モントレーの文化

一番印象的だったのは多様性があるということです。ホストファミリーと一緒にいった教会では、多民族が共存していて、互いの文化を理解し、尊重し合っていると感銘を受けました。他にも、フレンドリーに、ほめ言葉、挨拶、「ありがとう」をたくさん言い合うところも素敵な文化だと感じました。

(現代家政学科 3年 中嶋亜美さん)



▲ モントレーのビーチ

◇研修を終えて

今までの自分の価値観を見直す機会が多々ありました。日本から出なかったら気づけなかったことばかりです。言語はもちろんですが、それ以外の点で想像以上に多くのことを学びました。この研修に参加したことで、いろいろな面で成長できたと思うし、自信にもつながりました。

(生活デザイン学科 2年 山口真結さん)



▲ 修了証を手にした中嶋さん(左)と山口さん(右)

カリフォルニア州立大学モントレーベイ校 (アメリカ合衆国)

第13回外国語スピーチコンテスト& クリスマスパーティを開催しました！

2019年12月21日(土)13:00～16:30 町田キャンパスにおいて、「2019年度第13回外国語スピーチコンテスト&クリスマスパーティ」が開催されました。スピーチコンテストでは、登壇者が母語以外の言語でスピーチします。

2019年度は、「英語暗唱部門」と留学生による「日本語弁論部門」の2部門で構成され、両部門への参加者1名を含む計15名の学生が出場し、日ごろの成果を発表しました。

外国語暗唱部門の出場者は課題の中から、有名なリンカーン大統領の演説“President Lincoln delivered the Gettysburg Address on November 19, 1863 on the battlefield near Gettysburg, Pennsylvania”を、流暢な英語で披露しました。

日本語弁論部門は「私の夢」「日本で暮らして考えたこと」「日本で出会った大切な人」と題した弁論内容を、出場者それぞれが心のこもった語り口で堂々と述べました。会場には学生、卒業生、教職員、地域サポーター、保護者らが聴講に訪れました。

15時からスピーチコンテスト授賞式、国際交流会主催のクリスマスパーティが開かれ、参加者41名は、美味しいごちそうと楽しい会話、学生出題のクイズ等で時間を忘れ大いに盛り上がりました。

《スピーチコンテスト受賞者》

【英語暗唱部門】

◇優勝：呉 静(大学院1年)

【日本語弁論部門】

◇優勝：劉 旻婕(生活デザイン学科2年)

◇準優勝：曹 宇、王 欣悦(大学院1年)

◇敢闘賞：呉 静(大学院1年)

朴 世羅、牛 進(生活デザイン学科2年)

姜 花、鄭 杉杉、權 晶恩、宋 珊珊、于 松華、

于 淼、朱 麗、李 小蕾、王 書凝(生活デザイン学科1年)

【保護者会】

◇会長賞：劉 旻婕(生活デザイン学科2年)

◇副会長賞：曹 宇、王 欣悦(大学院1年)



▲「日本」に出会ってから留学するまでのストーリーに聞き入る

私の異文化・海外体験 第8回

子どもの幸せを目指す世界の一員として

齋藤史夫(生活デザイン学科)

2019年、30数年ぶりにヨーロッパを訪ねました。1月はジュネーブにある国連子どもの権利委員会での子どもの権利条約日本政府報告書審査の傍聴、5月はイタリア・ローマ市の国立小学校と芸術家アトリエでの「びっくり算数教室」実施のための訪問です。

日本の学校ではいじめ・暴力・不登校・自殺が減らず、虐待が増え、子どもの約7人に1人が貧困状況(子どもの相対的貧困率は13.9%)で生活しています。国連は世界196カ国の条約加盟国に対して5年に一度報告を求め、さらに審査を充実させるためにその国の市民からも情報・報告を広く募っています。私も、NGO(非政府組織)の一員として傍聴に参加し、驚きました。国連子どもの権利委員が日本を訪れて親子から話を聞き、「いじめを先生に伝えようと余計にいじめられると言っていた、本当に今の対策で解決できるのか？」などと質問していたのです。子どもたちの幸せを実現するための国連と世界中の国の政府と市民による対話と運動のシステムが子どもの権利条約なのだ、と深く感動しました。

私が、子どもたちが意欲を持ち楽しく学べることも、子どもの幸せの条件だと思い取り組んでいるのが「びっくり算数教室プロジェクト」です。「算数・数学は楽しい! もっと学びたい!」と思ってもらえるような算数教室です。そこで歌う、算数が楽しくなる歌を作詞・作曲しています。

5月には、その歌を聴いたローマ在住のママさんからの誘いで、ローマで「びっくり算数教室」を開くことになりました。

日本からブラレールを持参した「ガリレオ・ワーク」(ガリレオが発見した振り子の等時性を利用した子どもストップウォッチを作り、列車の秒速を計算)に熱中する子どもを見ていると、世界中どこでも子どもの様子は変わらないものだと思います。ただ、20人以内の少人数学級で全員が発表する姿を見て、日本の学校も少人数学級にすると良いなと感じました。

この2回の訪問から、世界は本当に狭くなったこと、日常の身近な生活や発信から子どもの幸せを目指す世界の一人としての役割を果たしうることを感じました。学生のみんなも、日々の生活を大切にするとともに、世界に向かう視野を持ち積極的に飛び出してほしいと感じる訪問でした。



▲ガリレオの地動説を教会が認めた象徴の振り子の前で



▲ブラレールの発車を待つ子どもたち

いろいろ募集中

本学学生対象です（「中国人留学生による中国語教室」をのぞく）

アメリカの大学生とメール交換

アメリカ合衆国フロリダ州にある Florida International University で日本語を学ぶ学生と楽しくメール交換。言語は日本語・英語・両方、いずれでも大丈夫です。

申し込み先：学務グループ(申込用紙あり)
申し込み期限：4月24日(金)

日本語会話パートナー

東京家政学院大学で学ぶ留学生と日本人学生とが出会い、おしゃべりしたり、一緒にご飯を食べたりしながら、お互いの文化を知り合う機会です。

申し込み先：学務グループ(申込用紙あり)
申し込み期限：4月24日(金)

マーク先生と楽しい英語サロン

「英語が苦手」「英語で話せるようになりたい」どのレベルの人でも大丈夫。マーク・ルイス先生と参加者で楽しく英語で会話しましょう。

◇開催日時・場所

【町田キャンパス】

水曜日12:20～12:50 図書館にて
4月22日／5月13日、20日、27日／
6月3日、10日、17日、24日／7月1日

【千代田三番町キャンパス】

金曜日12:20～12:50 場所未定(掲示にて)
4月24日／5月1日、8日、15日、22日、29日／
6月5日、12日、19日

申し込みは不要です。気軽においで下さい。

海外協定校に留学する

本学には吉林外国語大学(中国・長春市)、釜山女子大学校(韓国・釜山広域市)、韓南大学校(韓国・大田広域市)、コンケン大学(タイ・コンケン市)、カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校(アメリカ合衆国カリフォルニア州)の海外協定校があります。協定校への短期交換留学や短期研修に興味のある方は、説明会にぜひご参加下さい(申し込み不要。昼食持参可)。

両キャンパスとも開催日時・場所未定
決まり次第、掲示板等でお知らせします。

言語チューター

中国語、韓国語、日本語を学びたい学生と、教えたい学生が1対1で学び合う制度です(町田キャンパスのみ)。

応募資格

◇中国語

＜習う人＞ 本学学生であればどなたでも
＜教える人＞ 中国語母語話者の本学学生

◇日本語

＜習う人＞ 本学学部1～4年生の留学生
＜教える人＞ 日本語母語話者の本学学生

申し込み先：学務グループ(申込用紙あり)
申し込み期限：4月24日(金)

地域の方対象 中国人留学生による中国語教室

レベル：入門

曜日・時間：木曜日 13:00～14:30

日程：5月7日、14日、21日／6月4日、11日、
18日、25日／7月2日(全9回)

場所：町田キャンパス 国際交流室

申し込み期間：4月3日(金)～4月24日(金)

申し込み方法：

＜メール＞ iec@kasei-gakuin.ac.jp

＜電話＞ 042-782-6908

＜はがき＞ 〒194-0292 町田市相原町 2600

東京家政学院大学 学務グループ

いずれの場合も①中国語教室の申し込みであること、②氏名、③氏名の読み方、④電話番号、⑤住所をお知らせ下さい。

※「中国人留学生による中国語教室」は、地域の方を対象としたプログラムです。本学学生は申し込みませんのでご注意ください。